～おいしさと楽しさ～
シノブフーズ株式会社
証券コード 2903

第53期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

Instagramでも情報発信中!

新商品のご紹介や当社の取り組みなど、
シノブフーズの最新情報を随時更新中です。
ぜひフォローしてチェックしてください!

中期ビジョン

中期経営計画における 基本戦略

当社グループでは、経営理念に則した『良品づくり』のさらなるレベルアップを実現するために **4つの基本戦略** をもとに取り組んでまいります。

販売戦略

良品をお届けするために必要な「製造力」「開発力」「営業力」を磨き、安全・安心で美味しい商品をより多くのお客様に安定的に提供する体制を強化してまいります。

コスト戦略

良品を継続的にお届けするために、原材料面、労務管理面、販売管理面を中心に現場レベルでの緻密な管理を行い、中長期的な視点でのコスト削減に取り組んでまいります。

人財戦略

多様な働き方や働き手に対応した職場環境の整備に取り組み、健康で働きやすく能力を発揮し続けられる職場づくりと、研修制度の充実などスキルの向上を進めてまいります。

環境戦略

フードロス削減、石油製プラスチックの代替品やエコ素材を使用した包装資材の積極利用を推進するとともに、廃棄物総量の削減とゴミの再資源化に取り組んでまいります。

経営理念

当社グループがめざす姿

『おいしさと楽しさ』をモットーに、消費者ニーズに応える商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざしてまいります。

社会の活力を支える企業として

私たちシノブフーズは、お客様の視点に立った「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR（企業の社会的責任・社会からの信頼）にもとづいた企業活動を実践し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。

中期経営計画における数値目標

中期経営計画の数値目標として、2025年3月期において連結売上高550億円、経常利益率3.3%をめざしてまいります。

数値目標［第55期］（2025年3月期）		
連結売上高	550億円	
経常利益率	3.3%	

2022年3月期の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用し、一部の取引の収益を純額で認識しており、適用後の数値目標へ修正しております。

代表取締役社長
松本崇志

さらなるレベルアップの実現へ向け

シノブフーズは、『おいしさと楽しさ』をモットーに、設立以来50年以上、「食」にかかわる企業の使命として、お客様のニーズや社会のスタイルに合わせた商品を提供してまいりました。

第53期は中期経営計画【「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画】の3年目であり、商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざし、取り組んでまいりました。

今後も「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR（企業の社会的責任・社会からの信頼）にもとづいた企業活動を実践するほか、環境負荷軽減や持続可能な社会づくりに貢献し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
253億5千4百万円	9億5百万円	9億2千7百万円	6億9千6百万円
前年同期比3.9%増	前年同期比8.4%増	前年同期比9.0%増	前年同期比17.4%増

営業の概況

当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造卸販売しており、当社グループを取り巻く環境は、コロナ禍における消費者需要の変化への対応が求められる中、原材料やエネルギー価格の高騰等、引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画（2021年3月期～2025年3月期）を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人財戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、5月から冷凍おせちや冷凍惣菜の製造など冷凍事業の拡大を図り、また開発面では、オムライス専門店とのコラボ商品の開発をはじめとする「内製化」「良品づくり」「鮮度感」にこだわり、商品価値を高めることで他社との差別化に努めました。

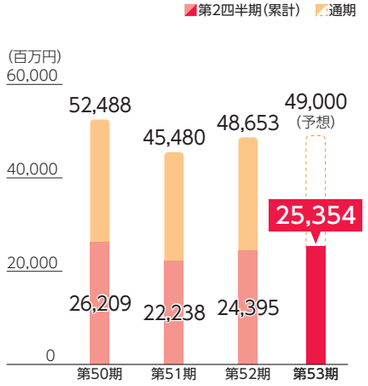
生産面では、政府のガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組むとともに、従来からの衛生管理に加え、生産管理部や購買部の工場巡回を通じ、「良品づくり」に向けた課題の解決や業務の改善を行い、食に携わる企業としての責任を全うするため、取り組んでおります。また大阪工場の炊飯設備を入替え、ごはんの美味しさと品質向上に努めました。

コスト面では、人員不足による労働コストの増加や、原材料やエネルギー価格の高騰等が続いておりますが、これらを吸収するべく、原材料の高騰を見据えた新商品の提案を積極的に行うとともに、主要食材の調達方法の見直しを継続いたしました。また、調理加工品アイテム数の削減や、機械化による品質及び生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しに取り組みました。

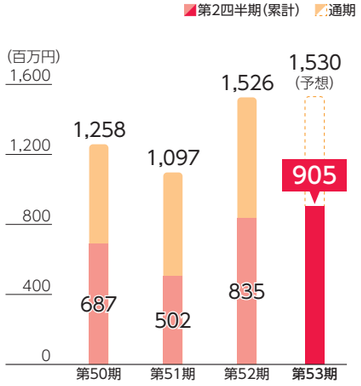
人財面では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための社内ルールを周知徹底し、従業員の健康管理に努めつつ、職種別の会議体や勉強会を継続し、スキルの向上や組織力の強化と均一化に取り組みました。

環境面では、プラスチック使用量を削減するため、軽量化した発泡素材容器への切換えを進め、また廃棄物を削減するため、関西工場、京滋工場、四国工場に生ごみ処理機を導入するなど、環境負荷の軽減に取り組みました。

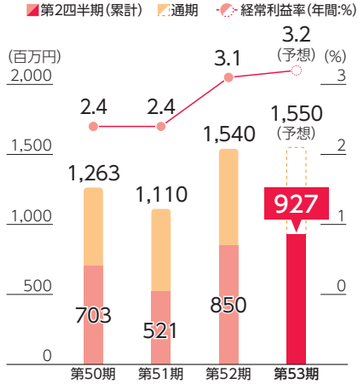
売上高



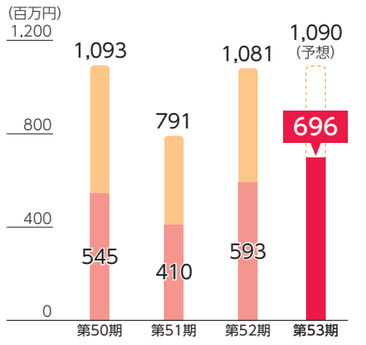
営業利益



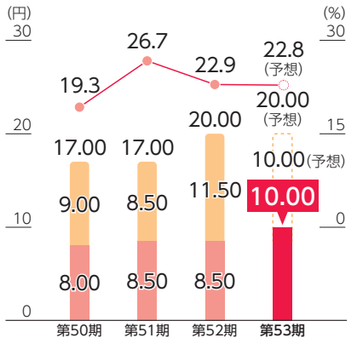
経常利益／経常利益率



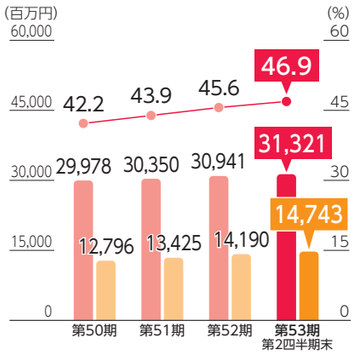
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



1株当たり配当金／連結配当性向



総資産／純資産／自己資本比率



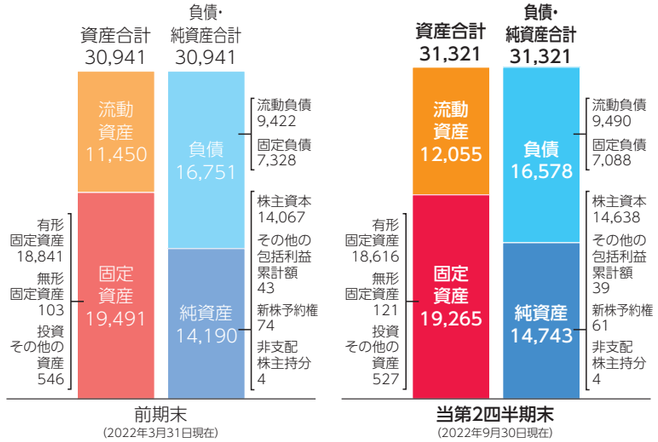
（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号　2020年3月31日）等を第52期の期首より適用しております。第51期の業績につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

連結財務諸表

▶▶ Consolidated Financial Statements

四半期連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



[資産合計]

現金及び預金の増加を主因に前連結会計年度末に比べ3億8千万円増加し、313億2千1百万円となりました。

[負債合計]

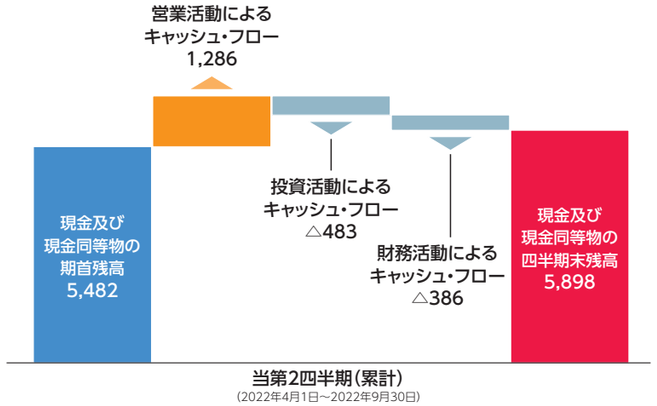
長期借入金の減少を主因に前連結会計年度末に比べ1億7千2百万円減少し、165億7千8百万円となりました。

[純資産合計]

親会社株主に帰属する四半期純利益6億9千6百万円を計上する一方で、配当金の支払1億4千2百万円等により前連結会計年度末に比べ5億5千3百万円増加し、147億4千3百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



[営業活動によるキャッシュ・フロー]

税金等調整前四半期純利益	929
減価償却費	741
その他の資産の増減額(△は増加)	△150
法人税等支払額	△301

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

有形固定資産の取得による支出	△461

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

配当金の支払額	△142
長期借入れによる収入	800
長期借入金の返済による支出	△1,042

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社データ

▶▶ Corporate Data

会社概要

(2022年9月30日現在)

社名	シノブフーズ株式会社 SHINOBU FOODS PRODUCTS CO.,LTD.
設立	1971年5月1日
資本金	4,693,422,000円
従業員数	537名
事業内容	米飯加工食品(弁当、おにぎり、寿司等)・調理パン(サンドイッチ等)・惣菜等の製造販売

役員

(2022年11月1日現在)

代表取締役社長	松本 崇志	執行役員	吉井 淳
代表取締役副社長	西村 寿清	執行役員	田中 謙治
取締役	清水 秀輝	執行役員	花谷 由紀
取締役	長尾 正史	執行役員	杉山 直博
取締役(社外)	加藤 道彦	執行役員	川部 昌文
取締役(社外)	中野 由里	執行役員	足立 裕明
常勤監査役	大塚 一樹		
監査役(社外)	野村 祥子		
監査役(社外)	南方 得男		

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	45,656,000株
発行済株式総数	13,500,000株
単元株式数	100株
株主数	7,862名

ネットワーク

(2022年9月30日現在)

本社　大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
TEL(06)6477-0113(代表)

工場	●千葉	千葉県八千代市上高野1734番1
	●名古屋	愛知県弥富市四郎兵衛1丁目128番地
	●大阪	大阪市西淀川区福町1丁目9番16号
	●関西	大阪市西淀川区御幣島6丁目14番36号
	●京滋	滋賀県栗東市六地蔵1163
	●岡山	岡山県総社市中原字巽原88番の2
	●広島	広島県尾道市美ノ郷町本郷20001番地65
	●四国	香川県観音寺市柞田町字干拓丁93番7号
	●物流センター	大阪市西淀川区福町1丁目9番17号
	●東京事業所	東京都大田区蒲田5丁目42番6号 蒲田ハイツ201号
子会社	●㈱エス・エフ・ディー	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
	●マイツベーカリー㈱	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号　三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号　三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(電話照会先)	0120−782−031(フリーダイヤル)　(受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く))
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記「電話照会先」までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

TOPICS | トピックス

生産者の方々と稲刈りを実施

2022年10月、当社指定農場にて購買部門・開発部門の新入社員などが、生産者の方々と一緒に稲刈りを行いました。

より生産者に近く、安全・安心な原材料を確保するため、今後も農産物を生産者から直接仕入れる取り組みを進めてまいります。

シノブフーズのサステナビリティ vol.2

私たちもまた世界市民の一員であるとの自覚のもとに、持続可能な地球環境と満足度の高い社会の実現をめざし、国連サミットで採択された国際目標「SDGs(Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標)」の実現に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

四国工場へ太陽光パネルを設置

シノブフーズでは、2013年7月に本社屋上に太陽光パネルを設置するなど、環境への負荷軽減に努めてまいりました。2022年11月には、四国工場へも太陽光パネルを設置いたしました。

太陽光パネルを設置したことにより、四国工場の年間使用電力量の約1カ月分をまかなうことができ、年間約136トン(スギの木約9,600本分の吸収量)のCO_2の排出を削減することが可能となります。今後も、地球温暖化の防止に向け、CO_2排出量の削減に取り組んでまいります。

その他のサステナビリティへの取り組みは、当社ホームページをご覧ください。

https://www.shinobufoods.co.jp/sustainable/

Shinobu
シノブフーズ株式会社
〒555-0011 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
TEL(06)6477−0113(代表)
https://www.shinobufoods.co.jp/

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022337

VEGETABLE OIL INK
この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しています。